

## 工事写真

### 写真（１）【着工前】

浄化槽設備士が正面を向いて、国土交通省「浄化槽工事業に係わる登録等に関する省令第9条」に定める標識を掲げ、背景に工事を行う場所の周辺状況及び地縄張りが写っていること。

### 写真（２）【掘削】基礎工事の状況を示す写真

基礎を施工するため、所定の深さまで掘削がすんで、規定面のとおり仕上げられているかスケールとともに写す。

### 写真（３）【基礎工】

栗石または砕石地業でランマ等機材で転圧の作業を行っているところを写す。

### 写真（４）【基礎工】

転圧終了後、基礎厚150mmが確認できるようにスケールとともに写す。

### 写真（５）【配筋工】

底盤配筋状況の写真（鉄筋のピッチが分かるように鉄筋にスケールを当てて写す。

### 写真（６）【基礎コンクリート】

コンクリート打設状況。鉄筋およびコンクリート厚150mmが確認できること。

### 写真（７）【基礎コンクリート】

コンクリート養生後、広さの分かるスケールとともに写す。

### 写真（８）【据付工】

浄化槽本体の形式及び据付機械が確認できること。

### 写真（９）【水張り】

浄化槽設備士が水張りを行い、本体の水平を確認していること。

### 写真（10）【埋戻工】

埋戻し中間での水締め状況の写真。

### 写真（11）【埋戻工】

埋戻し完了で浄化槽埋設状況が全景的に把握できること。

### 写真（12）【スラブ配筋工】

配筋全景が確認できること。

### 写真（13）【スラブコンクリート工】

打設状況が確認できること。

### 写真（14）【スラブコンクリート工】

コンクリート養生後、寸法が分かるスケールとともに写す。

**写真（15）【宅内配管工】**

宅内配管工事の状況が分かる写真。各排水管（支線を含む）から放流先までの施工区間。1枚に収まらない場合は複数枚に分けて撮影すること。

- ・掘削前（全景）
- ・掘削後（全景）
- ・掘削後（排水管布設部及び放流管布設部の掘削完了箇所の寸法が規定面のとおり  
に仕上げられているか分かるようにスケールとともに写す）
- ・配管布設後（全景）※台所、トイレ、風呂、洗面所等の新設した排水桝・排水管  
が露出した状態ですべてを撮影
- ・埋戻し状況（砕石及びコンクリートの厚みがわかるようにスケールとともに写  
す）
- ・埋戻し後（全景）

**写真（16）【単独浄化槽またはくみ取り便槽現況写真】**

単独浄化槽またはくみ取り便槽を使用している状況が分かること。

**写真（17）【単独浄化槽またはくみ取り便槽の撤去物写真】**

掘り起こし後、撤去物の全体が写るように撮影

**写真（18）【単独浄化槽またはくみ取り便槽撤去写真】**

単独浄化槽またはくみ取り便槽の撤去が完了した状況が分かること。

**写真（19）【産廃処分状況】**

処理施設への搬入状況が分かること。

**写真（20）【嵩上げ状況】**

嵩上げ高が確認できること。

**写真（21）【放流先への接続状況】**

側溝又は既設管等への接続状況が確認できること。

**写真（22）【ブロワー】**

ブロワー、アース、電源の状況が分かるように写す。

**写真（23）【竣工】**

柵の取付状況（1～2枚）。

**写真（24）【竣工】**

浄化槽全体の写真。浄化槽設備士が写っていること。

※写真については、デジタルカメラで撮影したものでも可。出力サイズはL版相当を使用する。